



議会だより な お し ま

2015 No.172
平成27年7月10日

発行●香川県直島町議会
編集●議会広報編集特別委員会
電話●(087)892-2297
印刷●山陽印刷(株)



町発展に汗を流します (議会構成) …… 2・3P
急げ総合戦略 (町長・教育長報告) …… 4・5P
大丈夫か? ライフライン (一般質問) …… 8・9P
ぜひ自分を利用してね! (U・Iターン者に聞く) … 11P
新鮮さをそのままに (がんばりよるで) …… 12P

初議会

スタート

選挙後、初めての臨時議会が5月8日に招集され、10人の全議員が出席しました。

議長・副議長の選挙を行い、続いて常任委員会・特別委員会・議会運営委員会などの議会構成を行いました。

就任あいさつ

議長

蓬

清二

副議長

小林

眞一



蓬 清二 議長



小林 眞一 副議長

活力あるまちづくりを

5月の臨時議会におきまして、議員諸氏より通算3度目の議長にご推挙いただきました。

誠に光栄ではあります。誠にご理解・ご協力をお願いし、ご挨拶いたします。

さて、このほど国は少子・高齢化対策と東京一極集中の是正を目標とした「地方創生法」を可決。そして平成27年度を地方創生元年と位置づけ、各市町村には「人口ピ

ジョン」と「地方版総合戦略」の策定を求めています。

また、豊島産廃処理事業は終了まで、あと2年を切りました。

何かと不透明な先行きが想定されることから、議会といたしましても従来以上に「活力あるまちづくり」のため、執行部とともに取り組む所存であります。

町民の皆様には、今後ともご理解・ご協力をお願いし、ご挨拶いたします。

何ごとにも是非々で

5月の臨時議会で議員各位のご賛同をいただき副議長に就任いたしました。

微力ではありますが、副議長を補佐することはもとより、町執行部に対しては、何ごとにも是非々々で臨み、お互いに切磋琢磨し、議会と町職員

の資質の向上、また、町発展に少しでも貢献できるように一生懸命に頑張りますことを申し上げます。ご挨拶いたします。

〈議会構成〉

常任委員会

◆総務・文教

委員長 松島 俊雄

副委員長 西岡裕喜広

委員 浜口 敏夫

委員 小野 孝一

委員 蓬 清二

◆経済・民生

委員長 石川 知久

副委員長 中野 善正

委員 井下 良雄

委員 丸山 義朗

委員 小林 眞一

特別委員会

◆活性化対策

委員長 浜口 敏夫

副委員長 丸山 義朗

委員 他議員全員

◆広報編集

委員長 井下 良雄

副委員長 石川 知久

委員 西岡裕喜広

委員 浜口 敏夫

委員 小野 孝一

委員 丸山 義朗

委員 小林 眞一

議会運営委員会

委員長 丸山 義朗

副委員長 松島 俊雄

委員 他正副議長

委員 を除く議員

玉野市・直島町 連絡協議会

理事 蓬 清二

委員 小林 眞一

委員 他議員全員

香川県後期高齢者医療 広域連合議会

議員 蓬 清二

新体制で



初議会を開きました

〳直島の将来
議論します〵

町民の皆様のご代表として、直島町がさらに発展するよう汗を流します。開かれた議会をめざします。ぜひ傍聴に来て下さい。



井下 良雄 議員



中野 善正 議員



西岡裕喜広 議員



松島 俊雄 議員



丸山 義朗 議員



小野 孝一 議員



石川 知久 議員



浜口 敏夫 議員



熱心に議論する委員会風景

議会選出監査
委員 小野 孝一

議会事務局
局長 植田 圭一
事務員 赤松千恵子

四国汽船に
要望する



濱中町長

町長報告

総合戦略の 作成を急ぐ

に開催しました。
に対して質疑を行
人が登壇し、町政

予算等、報告2件・
いずれも原案どお
閉会しました。

(主なもの)

- 3月13日 町民会館新築工事上棟式が執り行われました。
- 4月29日 四国汽船(株)の新造船「なおしま」の就航記念式典が執り行われました。
- 5月2日 つり公園で9月末までの土・日・祝日に「鯛のお刺身定食」などや予約制による「鯛の塩釜焼き」の営業を開始し、「鯛の釣堀」も始まりました。
- 5月21日 香川県市町長会議が開催され、町の住宅対策支援などを要望しました。
- 5月27日 かがわ地方創生コンシェルジュ・キックオフ交流会が東京さぬき倶楽部で開催されました。
- 5月30日 第22回町民体育祭・幼小中合同運動会が開催されました。



工期に間に合うのか町民会館

主な質疑

Q 工事は
間に合うか

Q (浜口)
町民会館
の工事は9月末
に完成できるか
どうか不安だが
見通しは。

A (建設経
済課長)
工期に間に合わ
すよう努力をし
ているが、今後、
台風などを少し
懸念している。

釣り客増に努力を

Q (小林) つり公園
は「鯛のお刺身定
食」などでがんばって
いるが、本来の目的である
釣り客に来てもらうため
にどうするか考えてもら
いたい。

A (町長) 毎月の釣
り大会など少しは
工夫をしているが、さら
に方法を考えたい。

Q (井下) 島内外に
ポスターを貼った
り、インターネットを使
うなどPRの強化・改善
策の検討は。

A (町長) なるべく
経費のかからない
方法でPRをはかりたい。

四国汽船の掲示板を

Q (井下) 「ベネッ
セ方面やバス乗り
場へ行く方は右側の階段
を降りて下さい」という
掲示板が小さい。船を降
りてから混乱しないよう
に掲示板を見やすくする
よう四国汽船に要望を。

A (町長) 町は住宅
の確保が難しい状
況なので、県営住宅の建
設を含めた支援など要望
した。

町が何をすべきか早急

Q (井下) 最
近、地方創
生ということが頻
繁に出るが、直島
も何をやるべきか
早い時期に考える
べきでは。

A (町長) 総
合戦略の策
定は自治体にとって重要
なことだ。
「まち・ひと・しごと
創生推進会議」という組
織を立ち上げて、早い時
期に総合戦略を作る作業
を急ぎたい。

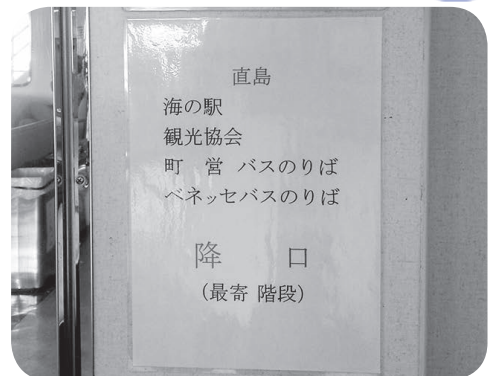
Q (丸山) 県との市
町長会議で町の住
宅対策問題を要望してい
るがその内容と県の反応
は。

A (町長) 町は住宅
の確保が難しい状
況なので、県営住宅の建
設を含めた支援など要望
した。

個人のテントは考えて

Q (小林) 町民体育
祭でテントに日よ
けをつけている人がお
り、その後ろの人は前が
見えない。何か規制でき
ないか。

A (町長) 教育委員
会・学校と協議し、
良い方法を検討したい。



わかりやすく大きな掲示を (新造船にも)

回答だった。

Q (井下) 最
近、地方創
生ということが頻
繁に出るが、直島
も何をやるべきか
早い時期に考える
べきでは。

A (町長) 総
合戦略の策
定は自治体にとって重要
なことだ。
「まち・ひと・しごと
創生推進会議」という組
織を立ち上げて、早い時
期に総合戦略を作る作業
を急ぎたい。

Q (丸山) 県との市
町長会議で町の住
宅対策問題を要望してい
るがその内容と県の反応
は。

A (町長) 町は住宅
の確保が難しい状
況なので、県営住宅の建
設を含めた支援など要望
した。

個人のテントは考えて

Q (小林) 町民体育
祭でテントに日よ
けをつけている人がお
り、その後ろの人は前が
見えない。何か規制でき
ないか。

A (町長) 教育委員
会・学校と協議し、
良い方法を検討したい。

国際交流 推進協議会の 立ち上げを

英語力の
アップを



原教育長

教育長報告

6月定例会を9日
町長・教育長報告
い、一般質問では2
を問いました。

平成27年度補正
議案4件を審議し、
り全員賛成で可決し

(主なもの)

- 3月5日 平成26年度シルバーカルチャー教室閉講式を開催しました。
- 3月24日 平成26年度学校外活動指導者の会を開催しました。
- 3月26日 子ども会育成連絡協議会が開催されました。
- 3月26日 男女共同参画会議が開催されました。
- 4月7日 平成27年度香川縣市町教育委員会委員長・教育長会議が県庁で開催されました。
- 4月16日 平成27年度婦人会定期総会が開催されました。
- 4月28日 平成27年度文化協会総会が開催されました。
- 5月12日 体育協会第41回定期総会が開催されました。
- 5月15日 中学校生徒会主催の第17回直島一周ごみ拾いツアーが実施されました。
- 5月27日 教育委員会定例会を開催しました。
- 5月30日 平成27年度幼小中合同運動会・第22回町民体育祭が開催されました。

主な質疑

協議の内容は

Q (浜口) 指定文化的財工事等協議の具

体的な内容は。

A (教育長) 極楽寺の本堂屋根の修理

について文化財保護審議会ではなかったもの。

実力を発揮して

Q (井下) なおしまEggが英語ガイド

をしているが、さらに実力を発揮できるようにしては。

A (教育長) 国際交流推進協議会を立

ち上げて充実していく予定。観光だけでなくEgg養成講座も行いたい。

つきたい力とは

Q (丸山) 子どもたちにつきたい力と

は。
A (教育長) コミュニケーション能力、表現力、学力、体力をつけることが中心である。



改修が必要な極楽寺

平成27年度直島町教育方針

基本方針

- ①生涯にわたって学び続ける意欲を養い、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、自ら学び自ら考える力を育てること。
- ②人間や自然を愛する心を養い、豊かな道徳性を育てること。
- ③自主・自立の精神を養い、たくましい心身を育てること。
- ④町民憲章に基づき、力をあわせて豊かな美しいふるさとをつくる心を育てること。
- ⑤社会連帯の意識を養い、国際的視野に立ち国を愛する心を育てること。



やったあー がんばったよ

空き家・空き地 有効利用を

3日間、合同常任委員会を開催等の報告を受け、議論をかわし

総務・文教

空き家・空き地調査 26年度の最終報告



地域おこし協力隊から報告を受けました

○居住していないと思われる建物（帰省などで利用するものを除く）32軒のうち23軒には大規模修繕が必要

○貸家希望（継続含む）38軒、売却希望11軒、活用に意欲的なのは町外に住んでいる人

○今後の活動

- ・空き家バンクの制作管理、運営
- ・フェイスブックの運営
- ・町営住宅用地の調査などにより空き家・空き地の有効利用を図っていく。

〔総務課〕

新たに5人

○4月1日 町職員採用

一般行政職 3人

保育士 1人

看護師 1人

不老会で説明会

○4月4日 宮ノ浦不老

会でタブレット操作説

明会を開催

Q タブレットの配布状況は、5月12日現在、1263台で若干の配布残がある。

A 「まちづくり観光課」

○4月14日 26年度のバス利用者は21万4408人、小型バス利用者は4128人

GW 混乱なく対応

○5月3日～5日 観光客は2万7263人で前年比106%。バス利用者は5日が4032人で最高。6日間合計で1万4022人

移動図書館利用状況

○年間延利用者 565人

貸出冊数 5110冊

貸出場所を本村、宮ノ浦以外も検討を。

是非検討したい。

直島Egg活発に

○4月29日 海の駅で外国人対象にガイド活動。

子ども11人参加。従来アートの紹介だったが、製錬所などの産業や食文化などにも拡げていきたい。

子ども・子育て支援事業計画

○子育て世帯からのニーズや他の条件を勘案し、町に見合った子ども・子育て支援を行う。

喜兵衛島製塩遺跡は今

○4月9日 喜兵衛島製塩遺跡調査を実施

Q 保存方法は今のままで良いのか。

A 放置状態が保存に適しているという意見もあるが多少の手入れは必要かとも思う。今後さらに検討する。



「海の駅」で初のガイド

直島港ターミナル 基本設計を協議

委員会

5月8日・19日・22日の
し、各課から現状・今後の予定
ました。

主なもののみ報告します。

経済・民生

〔ふれあい診療所〕

○診療状況

(平成26年度実績)

① 外来患者	
内科	1万856人
外科	3758人
小児科	1385人
② 入院患者	2731人
③ 時間外救急患者	651人
④ 病床稼働率	39・4%

(主な質疑)

Q 医師が代わつて、患者数の変化はあったか。

A 2人の医師とも非常に評判がいいので、今後、患者数が増えるのではないかと期待している。

〔建設経済課〕

有害鳥獣を駆除

○4月18日 カワウによる被害削減のため、駆除を実施。今後もカワウ・カラスの駆除を継続して実施予定

定食などの営業

○5月2日 つり公園で9月末までの土・日・



カワウの駆除は大変だ

祝日に「鯛のお刺身定食」や「鯛の塩釜焼き」の営業を開始し、「鯛の釣堀」も始めた。

町民会館が

直島ホールが

○設計者の三分一氏から「直島ホール」という名称を使用したい旨の申し入れに対する町からの協議に対し、①条例の題名を変更する。②診療所のように通称にする。③3月議会で新規に制定したばかりなのに、改正するのは何のための議会か、な

ど多数の意見があった。

直島港ターミナル

整備基本設計を協議

○直島港の待合所、トイレ

レ、駐輪場を一体的に整備するもの。

Q ①待合所は、風が吹き抜けるのではなく、ドアを付けるべきではないか。②建築費が非常に高いが、もっと安くできるのではないか。③町の意向を反映できなければ、設計者の変更も考えるべきではないか。

A 議会の意見を踏まえ、設計に反映されるよう伝える。

〔住民福祉課〕

健康ウォーキングを実施

○4月11日 つつじ荘発

着で、直島ダムを一周するコースに30人が参加し、ウォーキングを実施した。

〔環境水道課〕

Tシャツアート展

○4月25日～5月6日 海の駅で、うい・らぶ・なおしまの「エコTシャツ展」が開催され、70点の出品に1722人の投票があった。

水洗化率が向上

○平成26年度の水洗化率は、下水道接続者が増加し、96・46%となった。



最優秀作品賞に輝きました

一般質問

どう考えますか



松島 俊雄 議員

島人ツートップの決意と覚悟は

〔町長〕前町長の政策を引き継ぎ新たな地方創生を

町長は就任して1年を経過した。いよいよ旗幟鮮明の時期を迎えた。

また、教育長は初の島人（しまびと）でありその職務にあたる決意と覚悟を尋ねる。

① 町づくりの概念と具体策は。

② 最終目標は何か。

例えば

- ・人口は何人を目標とするのか。
- ・製錬所・ベネッセ以外の就労場所を作る。
- ・海上交通に関する住民要望への対応。

③ 目標達成に要する期間は。

A (町長) 過去1年は周囲の協力もあり、大過なく過ごせたと思っている。

最近、地方創生の動きも活発となり、大過なくでは通用しない時代になっている。

町職員一丸となり、町

の将来像を決めたうえで、進めていきたい。

以下、各質問に答える。

① 昨年の6月議会での所信表明が、私の政治姿勢だ。

基本姿勢は前町長の町政運営を引き継ぎ、現在の良い流れを変え、ことなく、さらに前進させることを基本理念とする。

特に、注力するテーマは、子どもの数を増やすこと。

女性と高齢者が活躍できる町にすること。

町の情報化を進めることの3点。

具体策については地方版総合戦略の中で、今後5年間の具体的な施策と重要業績評価指標を定めていく。

各分野の関係者で構成する「まち・ひと・しごと創生推進会議」で議論してもらったこととしているので、この場での答弁

は控える。

② 最終目標は今後、様々な議論を経て策定する

地方版総合戦略の内容が目標となる。

例としての人口目標は

第4次直島町総合計画では平成36年度の目標人口3500人。ただし、今年策定の地方人口ビジョンについては、国と同様に45年先の2060年を目標とする予定なので、また別の目標が出ると思う。

次に例示している新事業

業は、要望しているが、

離島という「ハンディ」

もあり困難を伴う。

海上交通については住民の声を運輸会社に伝え、少しでも利便性を高めたい。ただ、相手のあることなので、はっきりは言えない。

③ 必要期間は地方版総合戦略に掲げる内容については5年後になる。

町総合計画は9年後の平成36年度になる。地方人口ビジョンについては45年後になる。



子どもが増えることがテーマです

前任者の考えを踏襲することはない

教育委員会の仕事は学校・社会教育と島の歴史・伝統・文化を守り育てること。前者については成果を挙げているが、後者については、イマイチと認識している。

過去、質問した歴史と文化に関して、前任者と同様の考え方なのか。

A (教育長) 前任者の考えを踏襲することではない。過去を検証して、私なりの教育行政を行う。過去の質問については、ふるさと直島を愛する点では一致している。

しかし、経済支援を目的とする文化財指定は、本末転倒である。

文化財指定は諸々の条件クリアが必要となる。現時点では、対象物件はない。

町長



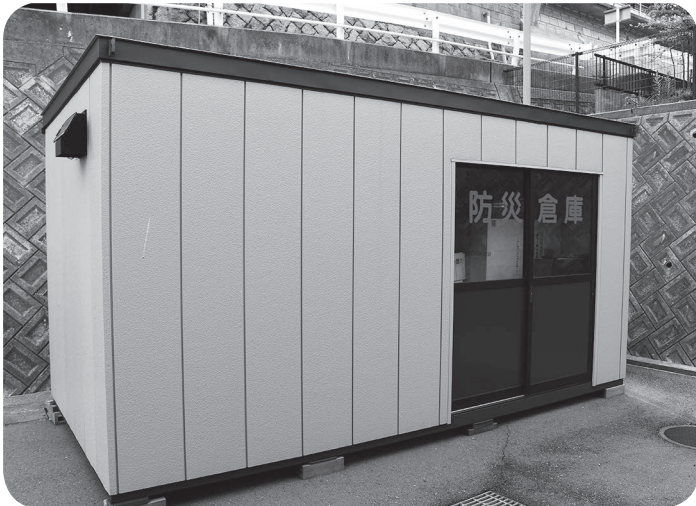
西岡裕喜広 議員

南海地震時のライフライン確保は

〔町長〕 飲み水は2400ℓ 備蓄している

他の市町村では、保存水や衛生的に良くない水でも簡単に飲料水にできる簡易浄水器、食品に関してはフリーズドライ食品やアルファ米など、火を使わなくても水を入れて食べられる食品など、5年から10年ほど保存ができる物を備蓄していると聞いた。

町では南海地震等でライフラインが寸断された場合、復旧までの水等の対策をどのように考えているのか。



備蓄倉庫（ふれあい診療所敷地内）



非常用飲食料品

南海地震が30年以内に発生する確率は70%と言われており、町でも大きな被害が発生すると思われる。地震の被害によりライフラインが寸断され、復旧のめどがたたない状況の中でも人は生きなければならぬ。水や食べ物は生命維持に大切な物だ。人が生きていくうえで、必要な水の量は1日に1.5ℓ〜2ℓだと言われている。

A (町長) 大きな地震で大きな被害が発生した場合にどう対応するかは、住民を守る責務を有する自治体として最も重要な課題だ。その中でも、ライフラインの確保は発生後、救援物資が入ってくるまでの間を生き延びるための大切な対策になる。町としては、避難者が被災直後の生命維持や、生活に最低限必要な食料

や飲料水を供給する責務を有しているので、一定量の備蓄に努めている。現在の町の備蓄状況は、本町の避難者は350人と予測されており、当面の食料備蓄は1日3食分、約1200食を目標としているが、現在は、アルファ米を約1000食分、副食としてビスケット等を約1000食分備蓄している。水の備蓄目標量は、1

日1200ℓと想定しているが、現在約2400ℓの備蓄しており、2日分の量になる。その後、国や他県等からの救援物資が供給されると想定されるが、救援が得られるまでの対策として、今後町内各企業等と災害協定の締結に努め、流通備蓄を確保するとともに、直接備蓄の更なる強化も検討していく。また、食料以外にも毛

布やタオル、懐中電灯なども一定量備蓄しているが乳幼児や食物アレルギーに対応した食物、おしめや生理用品なども今後検討していかなければならない。今後も関係各所との相互協力に努めていきたいと考えている。



あれ、どんなっとなん!



ありし日の濱田前町長

このコーナーは、議員が以前に一般質問や委員会などで質問した問題が、その後どうなっているか追跡してお知らせします。

前町長 濱田孝夫氏を名誉町民に

故 濱田前町長が名誉町民は受けないと言われたらしいが、功績を考えると受けてもらうべきと考える。今一度ご家族を説得してほしい。
(小野議員)

平成26年12月定例議会一般質問

答 弁

9月にご本人は受けないと言われた。その後、お亡くなりになり奥様に再度お聞きしたところ一度、家族と相談したいと言われ、現在、その返事を待っているところだ。
(濱中町長)

その後

ご遺族から可能なら是非お受けしたいと回答をいただいた。
町民会館の落成式にあわせ名誉町民証の贈呈式を提案したい。

マイナンバー制度に1287万円

平成27年度補正予算

一般会計

歳入歳出予算の総額に1347万円を追加し、42億1185万円となりました。

◎歳入の主なもの

●国からの補助金など 570万円追加

●県からの負担金 15万円追加

●繰越金 761万円追加

◎歳出の主なもの

●マイナンバー制度への移行業務委託料 1287万円追加

●介護保険会計へ繰出金 60万円追加

主な質疑

Q (小林) マイナンバーカード事務委託は、どのような事務を委託するのか。また、委託先の予定はあるのか。

A (住民福祉課長) マイナンバーカード関連の事務で、通知カードや申込み受付業務などがあり、委託先は地方公共団体情報システム機構を予定している。

ぜひ自分を 利用してね!



近藤 海太さん



伊藤 ユキノさん

Q 主にどんな仕事をしていますか。

近 幼い頃から魚などの生き物が好きでした。水産高校に進学し、ブリなどを飼育しているうちに養殖業に興味を持ちました。

伊 水族館関係で働きたくて水産高校を選びましたが、乗船実習のときに直島に住んでいた感覚を思い出し「直島で海に関する仕事」がしたいと思っただけです。

Q お2人とも水産会社で働いていますが、その動機は。

近 4月に来ました。滋賀県出身です。

伊 今年の3月22日に来ました。出身地は福島県いわき市です。

Q いつ直島にいられたのか。出身地は。

近 今年のお2人です。藤海太さんと伊藤ユキノさんのお2人です。

伊 ハマチ・鯛・サーモンの餌やりなどです。近 餌やりのときイクスに浮いている海藻などを取っています。



イクスの掃除も大事な仕事

Q 最後に2人の目標や将来像は。

伊 ずっと直島に住みたいです。そして頼れる、

近 この島に来るまで直島を知らなかったのですが、もともと直島を知る人が増えたらいいな、と思います。

伊 観光客とカフェが増えましたね。まだタヌキは見えてないですねエー。

近 綺麗な建物があったり、アート作品があったり、すごい島やなと思いました。

Q 町で人口増加対策をしていますか、U・Iターン者を増やすには、何か良い考えがあれば。

伊 直島に帰りたくなくなるような「何か」があればいいと思います。たくさんの人とふれあうお祭りみたいなイベントとか(自分で何言ってるかわからん(笑))。

近 目標は、船の運転が上手くなることと、まだ仕事の流れがわからないので、早く覚えて自分から動けるようにしたいです。

伊 信頼できる人になりたいです。ぜひ自分を利用して下さい(笑)。

近 目標は、船の運転が上手くなることと、まだ仕事の流れがわからないので、早く覚えて自分から動けるようにしたいです。

伊 観光客とカフェが増えましたね。まだタヌキは見えてないですねエー。

近 綺麗な建物があったり、アート作品があったり、すごい島やなと思いました。



餌やりも機械化しています



心を込めてつくっています



三田和子さん 西岡明美さん 木村正美さん 谷口かつみさん

新鮮さをそのままに

今回登場いただいたのはつり公園内のお食事処でおいしい定食を提供して下さいます皆さんです。

Q さっそくですが何人でがんばっておられますか。

木村 三田、西岡、谷口、木村の4人です。

Q 営業日を教えてください。

西岡 土・日・祝日ですが平日でも10人以上なら受け付けております。

また、お盆の13日から16日も営業しています。

「鯛のお刺身定食」は一人前1000円です。

ぜひ、お越し下さい。

Q 町内と町外の方、どちらが多いですか。また、外国のお客は。

三田 町内の人が3、町外の方が6、外国の人が1の割合です。

Q 来園された方々はほぼ満足して帰られます。

Q 今まで良かったことや困ったことなど何か面白いエピソードは。

三田 大勢の人とふれあうことができて楽しいです。

谷口 観光客の方から喜びのお礼状をいただきました。

外国のお客様が来られて、どきまぎしていると感じたこと(笑)。



手早く鯛をさばく木村さん

Q つり公園と一言で「鯛のお刺身定食」です。

Q 町内のお客様がもう少し増えればいいと思う。

西岡 つり公園までの交通のアクセスが悪いと思う。

谷口 町内のお客様がもう少し増えればいいと思う。

予算の関係もありますが器の工夫もありかなと思う。

Q 最後に、読者の皆さんにPRをして下さい。

谷口 いつもご利用ありがとうございます。

谷口 人気のお刺身定食は獲れたての鯛を木村さんが手早くさばきます。

新鮮さをそのままお客様に提供しています。上品な味わいと旨さが口いっぱいに広がります。

また、風味豊かな「タコ飯」は三田さんが心を込めて炊きあげています。これも好評です。

蒼い海、青い空、つり公園の景観を眺めながらそして、おだやかな浜辺の波の音を聴きながら、ぜひ、つり公園のおいしい「お刺身定食」などをぜひご賞味下さい。

私たちは、安全で安心な料理をお客様においしく食べていただくよう努力しています。

不意のご来客時にもお気軽にご利用下さい。情報が口コミで広がり、リピーターが増えることを楽しみにスタッフみんなで心よりお待ちしております。

ばいに広がります。

また、風味豊かな「タコ飯」は三田さんが心を込めて炊きあげています。これも好評です。

蒼い海、青い空、つり公園の景観を眺めながらそして、おだやかな浜辺の波の音を聴きながら、ぜひ、つり公園のおいしい「お刺身定食」などをぜひご賞味下さい。

私たちは、安全で安心な料理をお客様においしく食べていただくよう努力しています。

不意のご来客時にもお気軽にご利用下さい。情報が口コミで広がり、リピーターが増えることを楽しみにスタッフみんなで心よりお待ちしております。

今日はどうもありがとうございました。

今日はどうもありがとうございました。これからもお客様に満足していただけるおいしい料理を提供して下さい。

スタッフの皆さん、がんばりよるで。

編集後記

地方創生の名の下、全国の各自治体が独自色を出し人口増加策等に力を入れている。

そんななか6月9日、改選後初の定例会で、初当選の議員が初一般質問に立った。初々しくもなかなか堂々としたものだった。

小生の時はと言うと「お前声が小さいけん何言よんかいっこともわからん」と傍聴者の声。肩を落とし反省したのを思い出す。そして、理由はどうかあれ今回一般質問に立たなかつた自分にゲンコツ。質問は議員の仕事、質問してナンボのもの。

(井下記)

議会広報編集特別委員会

議長 蓬 清二

委員長 井下 良雄

副委員長 石川 知久

委員 西岡裕喜広

委員 浜口 敏夫

委員 小野 孝一

委員 丸山 義朗

委員 小林 眞一